



あなたらしい 暮らしを ごいっしょに。

支援ってむずかしい。
支えは必要だけれど、
支えが障がいのある人の暮らしを決めすぎてはいけない。

送迎する人がいる。
ご飯を作る人がいる。
寄り添い、散歩する人がいる。
見守りながら共に働く人がいる。
絵が好きな人にはカードで、
文字の理解が上手な人には言葉で、
一人ひとりに1日のスケジュールを用意する人がいる。
障がいのある人の家族を支える人もいる。

おおよそ60年。
小さな保育園からはじまった
わたしたち社会福祉法人侑愛会の支援。
支えを必要とする人にとって
何が壁になっているのか。
どこに壁があるのか。
一人ひとりをよく見つめて、考え、そっと寄り添う。
これまでも、これからも
わたしたちの支援は続きます。

一人ひとりを認め合う。
そんな暮らしを想いながら。



暮らしの中にはいろいろな人がいて、
わたしのできるが、だれかのできない
だったりする。



わたしたちは笑顔にすることが大好きです。
笑顔から、自分も笑顔をもらうことは、
もっと好きです。

子ども、おとな、老人。
よく笑う人、怒りっぽい人。
はじめまして！いつも挨拶してくれる人。
世界にたったひとりの人。



人が有って愛がある
社会福祉法人 侑愛会

利用者さんというより、 仕事をする仲間。

おしま菌床きこセンターは

単体の施設としてはしいたけの出荷量全道2位!

年間およそ220トンの生しいたけを生産する現場で

利用者と支援職員あわせて140名以上の方が

ひたむきに働いています。

近郊から通ってくる在宅の方、入所施設から来ている方。

それぞれに持つ得意やできることを活かしている「適材適所」の仕組みが

おしま菌床きこセンターを力強く支えています。

ここで働く利用者の方たちは

一緒に力を合わせて働く頼もしい「仕事仲間」

従業員です。



しいたけ栽培は、一般的に原木栽培か菌床栽培の2種類で行われます。センターでは北海道産のナラ・シラカバ材を原料に、おがくずからブレンドして菌床を作っています。その菌床は、センターで栽培に使う分だけではなく、道内の栽培業者へ年間40万菌床以上が販売されています。

お子さんは伸びたんですよ。
お父さんお母さんがいたから、

自閉症や身体的な障がいのために
保育所や幼稚園へ通うことが難しいお子さんをつくしんぼ学級では優先的に受け入れています。
私たちがここで提供しているのは「できる」こと。
楽しいね!こんなことができるようになったね!
自分は認められているという気持ちが成長につながるように。
お子さんの様子に変化が見られた時
ご家族から「つくしんぼのおかげ」とうれしい言葉も。
けれども、そうではないんです。
お父さんお母さんがいたから、子どもは伸びるんです。
お父さんお母さんの代わりにはなれませんが
その言葉を励みに
今日もいっしょに遊びます!



侑愛会の歴史は七重浜保育園からはじまりました。かつて、七重浜保育園の建物内にあったつくしんぼ学級は、保育園の支援学級のような存在にということで「学級」と名付けられたようです。つくしんぼ学級には、支援が必要な人とともに生き、ともに育っていこうという当時の想いがいまでも受け継がれています。



「がんばる」から、
「のんびり」へ。

侑愛荘で生活しているのは高齢の利用者の方たち。
それぞれの目標に向かって
伴走する職員とともに
「がんばる」ことを続けてきました。
今度は晩年に向かって
「のんびり」と過ごしてもらおう場所が侑愛荘です。
なかには、がんばってのんびりするよ!
なんてまじめ?な利用者も。
高齢の方には、心がほっとする生活へと
目指すものを変えていただくことが
必要となってきます。
障がいのある方々の暮らしに
長年寄り添ってきた侑愛会にとって
ターミナルケアは大切な課題です。



ご家族の同意などいくつかの条件が揃って、最期のときを侑愛荘で過ごしていただいた方もいらっしゃいます。これまでの看取りの場面では、職員たちから自然と「ありがとうございました」と感謝の言葉。侑愛荘から旅だっていかれた方たちは、私たちに大きな学びを遺してくださっています。





林 経夫 所長

サポートすばる

暮らしの選択肢をつくる。

そのひとに合った、

星が丘寮で暮らす自閉症の方の中には
グループホームへ生活の場を移される方も。
障がいのある方の生活スタイルを
入所か在宅かの2択ではなく
その人に合った暮らしの選択肢を増やしていこう。
その取り組みがすばるやオリオン、ぎんがというグループホームです。
利用者の方々がその人らしく暮らせるように
星の名前がついた施設が少しづつゆうあいの郷に増えています。



コーヒーが好きな利用者の方がいました。とあるコーヒーショップに協力をお願いして、利用者さんが注文したいものを描いたカードで、ご本人自らコーヒーを買うことができました。支援者も自分の力で足りないところは応援をお願いします。支える側が支えてもらう。障がいのある方もない方もより暮らしやすい社会。そんなふうに、地域の中で応援隊を増やしていけたら素敵なことですよ。

小谷 素美子 所長

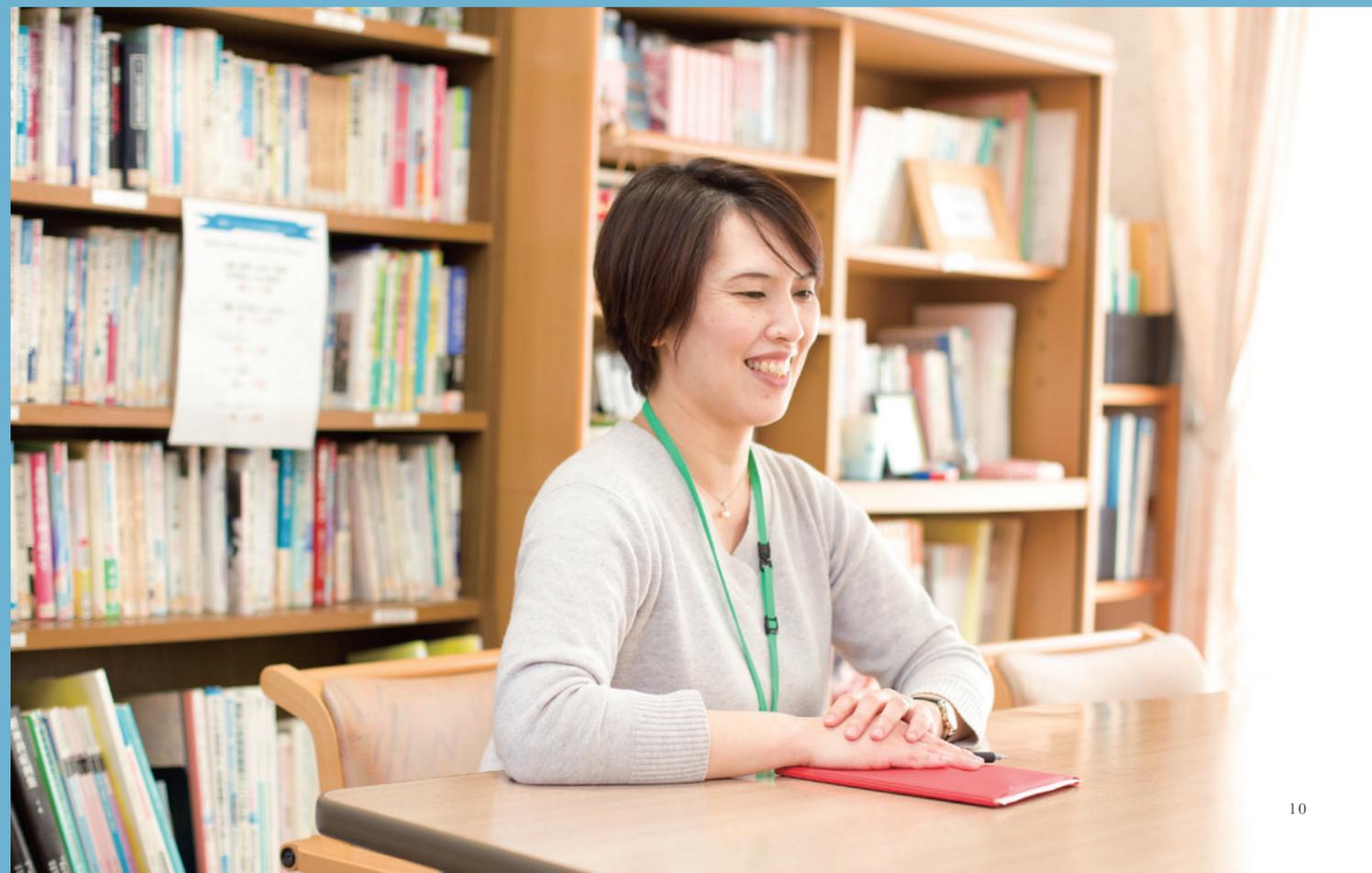
ぱすてる

外にチームをつくること。

多業種と連携することは、ぱすてるの大きな特長のひとつ。
ご相談を受けた時に
学校の先生や病院の医師、あるいは役所の方など
必要な業種と連携してその人を支援するためのチームを
侑愛会の枠を超えて作っていきます。
私たちが大切にしているのは
「ご本人がどうしたいか」ということ。
ご本人の希望を実現するために
困難があったとしてもより良い方法を探っていきます。
ぱすてるに相談して良かったと思っただけのことが
私たちの喜びになっています。



H11年の開設以来24時間365日、地域の方からのご相談に対応しています。障がいのある・なしに関わらず、赤ちゃんから高齢の方、そのご家族まで幅広いお困りごとのご相談を受けています。それは、お困りごとに休みはないよね、という思いから。まずは話を聞こう、というのがぱすてるの基本方針です。H27年に基幹相談支援センターの指定を受け、相談支援事業所の中核の役割を果たしています。



緑の自然に守られる、ゆうあいの郷

小高い丘の上から遠くまでも見渡すような、当別地区。ここでは、緑の自然ゆたかな環境に囲まれて、ゆるやかな暮らしが紡がれています。

侑愛会として最初に開設されたおしま学園をはじめ、障害者支援施設を中心とした「ゆうあいの郷」。利用者のかたがアート作品を生み出したり、地域の学校に通ったり。

また、高齢期を迎えた利用者のかたがのんびりと暮らしている施設もあります。おいしさが自慢のゆうあいパンやまるやま味噌も、当別地区で作られ近隣地域で販売されています。

広くのどかなゆうあいの郷では、歩いての移動も活動のひとつ。今日も利用者の方が季節を感じながら歩いています。



1

福祉型障害児入所施設 おしま学園

定員: 30名

〒049-0282 北海道北斗市当別697番地
TEL 0138-75-2211

実施事業 福祉型障害児入所施設/短期入所/日中一時支援



2

障害者支援施設 新生園

定員: 80名

〒049-0282 北海道北斗市当別697番地
TEL 0138-75-2212

実施事業 生活介護/施設入所支援/短期入所/日中一時支援



3

障害者支援施設 明生園

定員: 50名

〒049-0282 北海道北斗市当別697番地
TEL 0138-75-2213

実施事業 生活介護/施設入所支援/短期入所/日中一時支援



4

障害者支援施設 ワークショップ まるやま荘

定員: 50名

〒049-0282 北海道北斗市当別697番地
TEL 0138-75-3018

実施事業 生活介護/施設入所支援/短期入所/日中一時支援/
就労継続支援B型



5

障害者支援施設 星が丘寮

定員: 60名

〒049-0282 北海道北斗市当別697番地
TEL 0138-75-2178

実施事業 生活介護/施設入所支援/短期入所/日中一時支援



6

障害者支援施設 ねお・はろう

定員: 60名

〒049-0282 北海道北斗市当別697番地
TEL 0138-75-2112

実施事業 生活介護/施設入所支援/短期入所/日中一時支援



7

障害者支援施設 侑愛荘

定員: 80名

〒049-0282 北海道北斗市当別697番地
TEL 0138-75-2238

実施事業 生活介護/施設入所支援/短期入所/日中一時支援



8

グループホーム(サポート機関) サポートかわつき

定員: 30名
グループホーム: 9か所

〒049-0282 北海道北斗市当別1丁目4-3
TEL 0138-85-8586

実施事業 共同生活援助



9

グループホーム(サポート機関) サポートずばる

定員: 21名
グループホーム: 3か所

〒049-0282 北海道北斗市当別697番地
TEL 0138-75-2244

実施事業 共同生活援助/短期入所



10

診療所 ゆうあい会診療所

〒049-0282 北海道北斗市当別697-34
TEL 0138-75-2806 FAX 0138-75-3571

実施事業 診療所



子どもたちの笑い声がひびく、明るいまち

子どもたちの保育園からはじまった、ゆうあいの心のふるさとである七重浜地区。障がいのある子もいない子も、まちの暮らしにとけこんでのびのびと活動しています。

一人ひとり、その人らしさを支えることは、子どもも大人も同じです。障がいのあるなしにかかわらず、どの子にも居場所のある、住みやすいまちであるように。侑愛会の願いが根づいています。

侑愛会のマネージメントの中核である法人本部も、この七重浜地区にあります。会の本拠地として、それぞれの事業所と連絡をとり合いながら、みんなが元気に役割を果たせるよう日々見守っているのです。

びっしりと並ぶ立派なしいたけを育てているおしま菌床きのこセンターがあるのも、この七重浜地区です。やさしい剪定、ていねいな選別、出荷のちから仕事。ここでは利用者さんも職員も支え合って働く仲間です。



1 **社会福祉法人侑愛会本部**



〒049-0101 北海道北斗市追分7丁目8-9
TEL 0138-49-2581 FAX 0138-49-4796
実施事業 社会福祉法人

2 **学校法人ゆうあい学園本部**



〒049-0101 北海道北斗市追分7丁目8-12
TEL 0138-49-1800 FAX 0138-49-1657
実施事業 学校法人

7 **障害者支援施設 侑ハウス**



定員: 40名
〒041-0824 北海道函館市西桔梗町783-15
TEL 0138-48-0270
実施事業 生活介護/施設入所支援/短期入所/日中一時支援

8 **グループホーム(サポート機関) サポートはまなす**



定員: 100名 グループホーム: 21か所
〒049-0101 北海道北斗市追分2丁目51-3
TEL 0138-49-2527
実施事業 共同生活援助/短期入所

3 **幼稚園(学校法人) ゆうあい幼稚園**



定員: 160名
〒049-0101 北海道北斗市追分7丁目8-12
TEL 0138-49-1800
実施事業 幼稚園

4 **児童発達支援センター つくしんぼ学級**



定員: 40名
〒049-0101 北海道北斗市追分7丁目8-8
TEL 0138-49-0699
実施事業 児童発達支援/保育所等訪問支援/障害児相談支援/日中一時支援/来所相談・園訪問他

9 **生活介護事業所(通所) おしま屋**



定員: 20名
〒049-0111 北海道北斗市七重浜5丁目12-31
TEL 0138-49-7233
実施事業 生活介護/日中一時支援

10 **幼保連携型認定こども園 浜分こども園**



定員: 120名
〒049-0111 北海道北斗市七重浜5丁目11-8
TEL 0138-49-4351
実施事業 障がい児保育対策/障がい児保育特別対策/延長保育/一時預かり/育児講座・育児と仕事両立支援/世代間交流等/地域子育て支援拠点/障がい児保育円滑化/乳児保育/病後児保育

5 **児童発達支援事業所 おひさま**



定員: 10名
〒049-0101 北海道北斗市追分7丁目8-8
TEL 0138-84-1505
実施事業 児童発達支援/保育所等訪問支援

6 **多機能型事業所(通所) おしま菌床きのこセンター**



定員: 60名
〒049-0101 北海道北斗市追分6丁目1-12
TEL 0138-49-8611
実施事業 生活介護/就労継続支援B型/日中一時支援

11 **幼保連携型認定こども園 七重浜こども園**



定員: 120名
〒049-0111 北海道北斗市七重浜3丁目12-5
TEL 0138-49-1811
実施事業 障がい児保育対策/延長保育/一時預かり/異年齢児交流等/地域子育て支援拠点/乳児保育/休日保育

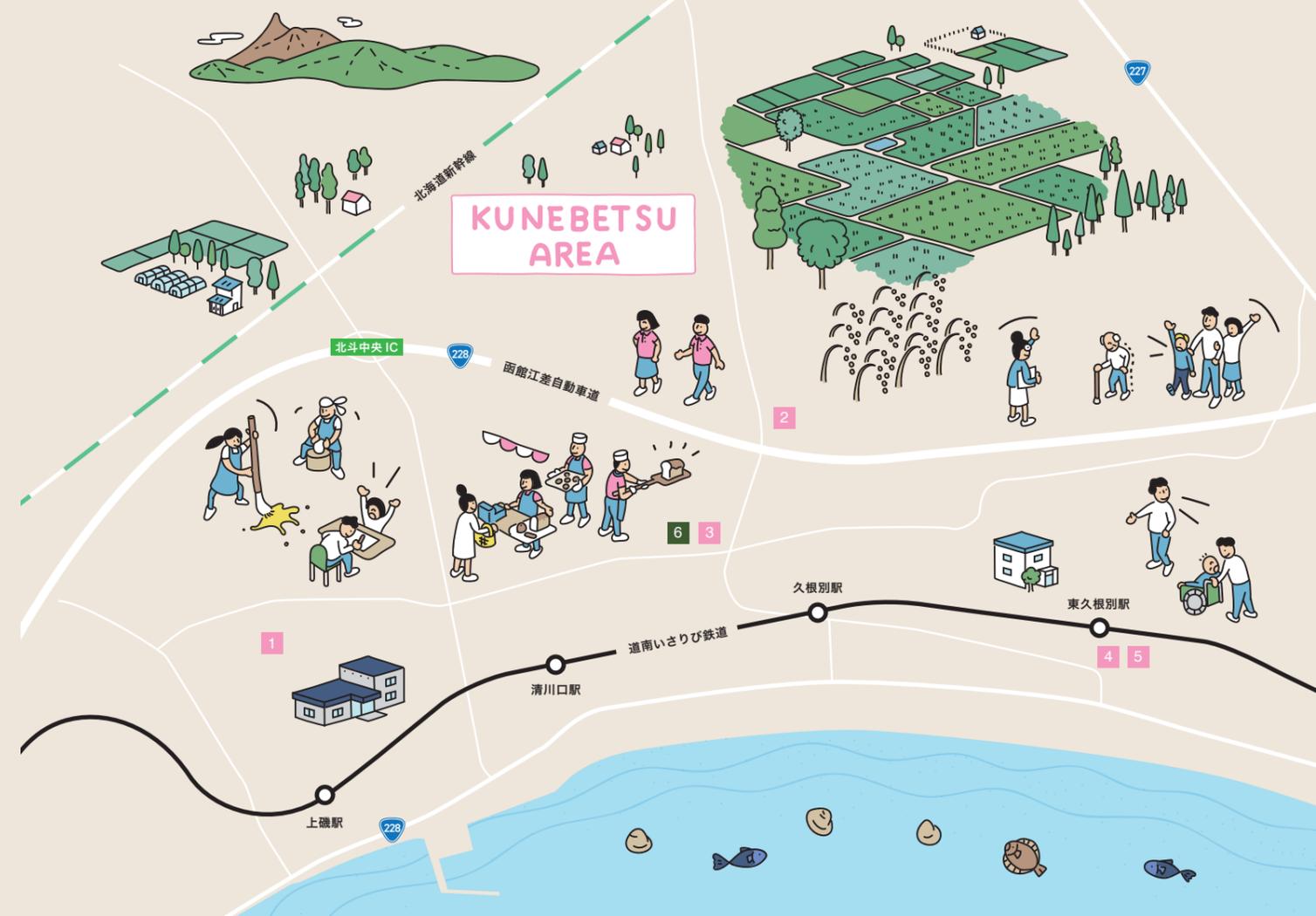
働く喜び、その人らしい生活の実感

ゆったり、のどかな久根別地区。米や野菜など緑豊かな田畑の向こうには駒ヶ岳をみることもできます。

からだにやさしいパンの店「ハーベスト」では、元気な赤やオレンジ色、おそろいのポロシャツに身を包んだ利用者のかたがせつせとパンを焼いています。作りたてにこだわった、やさしいパンがみなさんをお出迎え。想いのこもったパンを通して地域とつながっています。

ワークセンターほくとから生まれるユニークなアート作品も、その人らしさを支えるゆったりとした日中活動から生まれています。自由でゆたかな広がりのあるアートの世界。そこで、のびのびと個性を発揮できる人も、少なくありません。また、自閉症・発達障がいの方やそのご家族の生活をサポートする施設もあります。

一人ひとりがいきいきと過ごせる場所がここにあります。



1 生活介護事業所(通所) ワークセンターほくと

定員: 40名
〒049-0152 北海道北斗市押上1丁目2-30
TEL 0138-74-3000
実施事業 生活介護/日中一時支援



2 グループホーム(サポート機関) サポートカーム

定員: 46名 グループホーム: 11か所
〒041-1223 北海道北斗市一本木142-1
TEL 0138-85-8638
実施事業 共同生活援助/短期入所



3 多機能型事業所(通所) クッキーハウス

定員: 50名
〒049-0121 北海道北斗市久根別3丁目207
TEL 0138-73-9185
実施事業 生活介護/就労継続支援B型/日中一時支援



4 障がい者生活支援センター アシスト・ほくと

〒049-0121 北海道北斗市久根別1丁目7-10
TEL 0138-84-6681 FAX 0138-73-5150
実施事業 相談支援(特定・一般)/自立生活援助/障害支援区分認定調査



5 ヘルパーステーション ルーチエ

〒049-0121 北海道北斗市久根別1丁目7-10
TEL 0138-85-8527 FAX 0138-73-5150
実施事業 障害児者居宅介護/障害児者地域生活支援(移動支援)



6 からだにやさしいパンの店 ハーベスト

〒049-0121 北海道北斗市久根別3丁目207
TEL 0138-73-0897 FAX 0138-73-1186
営業時間 10:00~16:00
定休日 日曜日、月曜日

収穫を意味する「ハーベスト」。田畑に囲まれ、緑ゆたかな土地で一つひとつ丁寧に、からだにやさしいパンを焼いています。クッキーハウスから歩いて数十秒、お揃いのポロシャツでわいわいと賑やかに通勤しています。利用者の働く喜びが、お客様の笑顔につながりますように。



自慢のシフォンケーキ。製造数に限りがあるため週末限定です。



切っぴは倒し、切っぴは倒し、エビの成形もお手のものです!

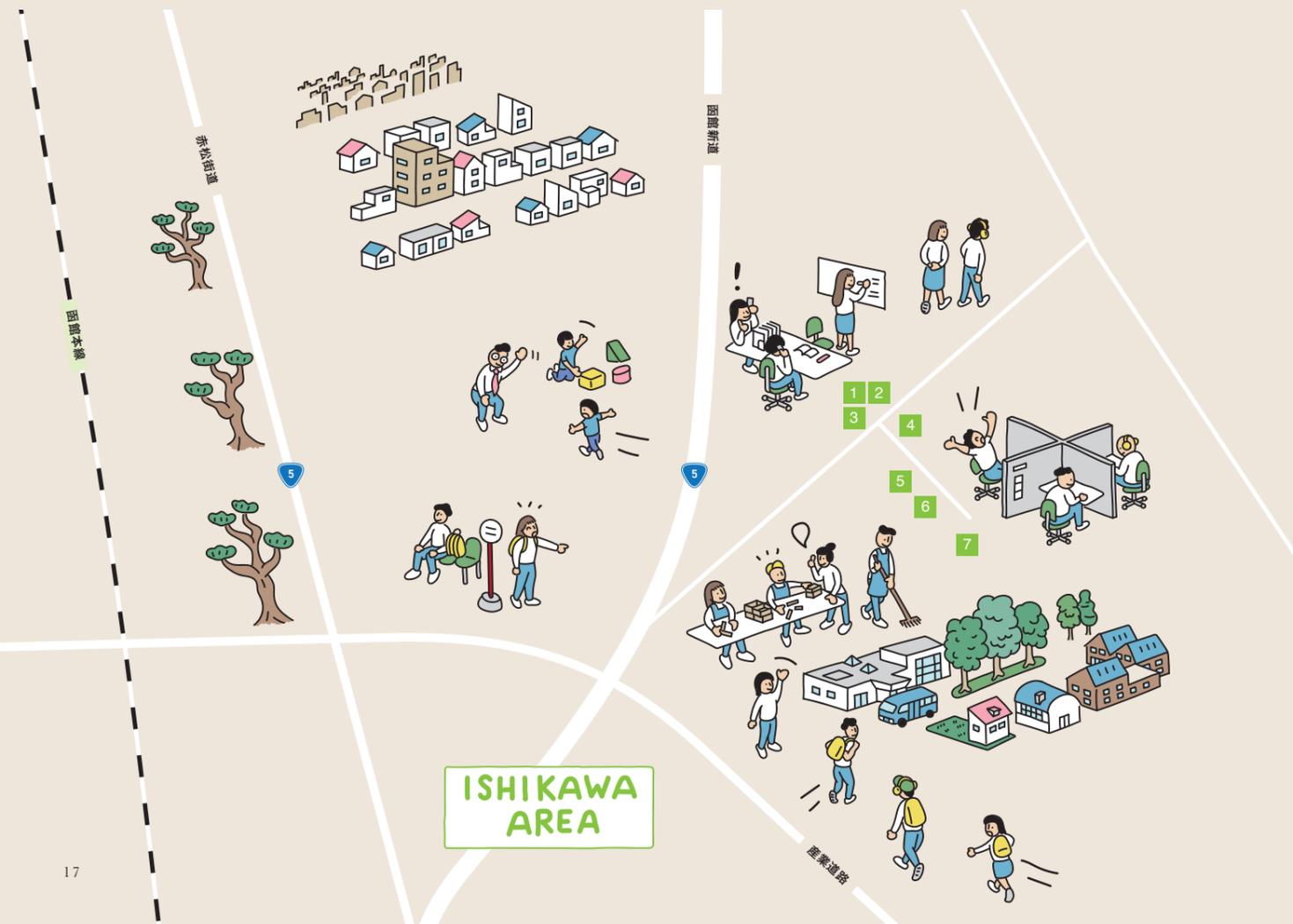
まちの一人ひとりと支え合う

函館のまちの一角に位置する石川地区。幹線道路に近い石川地区では、バス停から歩いて通われる元気な利用者のかたも。モザイク画に集中したり、道南名産のウニを入れる化粧箱を組み立てたり、いきいきと活動しています。

作業や仕事を終えると、他の建物からワークショップはこだて内の食堂へとお昼を食べにくる利用者のかたも。まちの縮図のように、わいわいと人が集まってくるその光景は、石川地区ならではの。

地域の方の相談に1年じゅう門戸を開いて対応する相談機関や、自閉症、発達障がいの方やそのご家族の生活をサポートする支援センターがあります。診療所では子どもたちの療育を医療の面から支えています。

地域のひとたちとの関わりや支え合い、人と人がつながる暮らしのかたちがここにあります。



1 障害者生活支援センター
ぱすてる



〒041-0802 北海道函館市石川町90-7
TEL 0138-34-2611 FAX 0138-34-2612

実施事業 相談支援/基幹相談支援/相談支援(特定・一般・障害児)/コミュニケーション支援/障害者地域活動緊急介護人派遣/中途障害者生活訓練/地域生活支援拠点

2 発達障害者支援センター
あおいそら



〒041-0802 北海道函館市石川町90-7
TEL 0138-46-0851 FAX 0138-46-0857

実施事業 北海道発達障害者支援センター事業/北海道発達障害者地域支援マネジャー事業/北海道家族支援体制整備(ペアレントメンター)事業

3 道南しょうがい者就業・生活支援センター
すてっぷ



〒041-0802 北海道函館市石川町90-7
TEL 0138-34-7177 FAX 0138-34-5545

実施事業 障害者就業・生活支援センター/南渡島圏域広域相談支援体制整備事業

4 生活介護事業所(通所)
ワークショップ
はこだて



定員: 50名

〒041-0802 北海道函館市石川町41-4
TEL 0138-46-6601

実施事業 生活介護/日中一時支援

5 診療所
ゆうあい会
石川診療所



〒041-0802 北海道函館市石川町41-2
TEL 0138-46-6641 FAX 0138-47-8496

実施事業 診療所

6 生活介護事業所(通所)
函館青年寮通所部



定員: 20名

〒041-0802 北海道函館市石川町41-2
TEL 0138-47-3128

実施事業 生活介護/日中一時支援

7 障害者支援施設
函館青年寮



定員: 40名

〒041-0802 北海道函館市石川町42-2
TEL 0138-47-0124

実施事業 生活介護/施設入所支援/短期入所/日中一時支援

あなたが安心して豊かに暮らせる社会を創る

インクルーシブなわたしたちの街を実現する

私たちは、「ゆうあい」を利用される方から学び、一人ひとりが必要とするサポートの実践をとおして、だれもが安心して豊かに暮らせる社会の実現をめざします。

私たちの街では、子ども、若者、おとな、高齢の方、LGBTQ+の方、さまざまな人種の方、知的発達に違いがある方、自閉症の方、身体に違いがある方、難病を抱えている方など、それぞれに違いがあって、ひとりとして決して同じではない暮らしを営んでいます。まさに多様な人々がこの街でいまを生きています。

インクルーシブとは、包み込まれた状態を意味します。それぞれの違いを理由に、社会参画する機会を妨げられたり、不当な差別を受けたりする。それは、インクルーシブではありません。多様な一人ひとりがかけがえのない存在として認められ、さまざまな機会を共有する。そのときに、ほんの少しだけ、必要なサポートを受け合う関係がある。それがインクルーシブな状態なのだと考えます。

利用される方々を私たちだけで支えるのではなく、この街の人や社会資源を巻き込んで優しい社会のあり方を醸成させていく視点をもたなければなりません。つまり、私たちは利用される方々を支え、地域社会を支え、そして逆に、利用される方々や地域から支えられる仕組みを創りだしていきます。

私たちの理念は、もしかすると世界中のだれも、未だ見たことのない社会を示しているのかもしれませんが。そんな社会を、街を実現する。それが、私たちの理念です。



あなたの声に耳をかたむけ
あなたの想いにこたえる

「聴く」「学ぶ」「創る」「繋ぐ」

人が有って愛がある

侑愛会という法人名には「愛」の文字が入っています。愛とは何でしょうか？ 人類がずっと考え続けてきたテーマです。私は率直に「大切にすること」と考えたいと思います。「大切なのはどれだけたくさんのかををしたかではなく、どれだけ心をこめたかです」というマザーテレサの言葉を私は座右の銘にしてみました。でも、どこまでこの言葉に忠実だったか…、疑問がいっぱいです。

心を込めて大切にすることが、支援であり、人権を守ることであり、コンプライアンスであり、利用者の方々のQOLを高めることであり、職員が働きやすい職場環境を整えることであり、すべての基礎なのではないでしょうか？

侑愛会は70年間、地域社会に貢献してきました。この長い歴史は多くの方々の支えと信頼によって築かれました。過去の経験と実績を活かし、失敗をも活かしながら、だれもが安心して暮らせる地域社会、互いに大切にしようとする地域社会を、多くの方々の力を借りながら築いていきたいと思っています。



理事長 祐川 暢生

沿革

- 1953年(昭和28年) 9月 ● 七重浜保育園(現こども園)開設
- 1963年(昭和38年) 6月 ● 社会福祉法人侑愛会設立(理事長大場茂俊)
- 1967年(昭和42年) 10月 ● おしま学園(ゆうあいの郷)開設
- 1998年(平成10年) 4月 ● 大場公孝 第2代理事長就任
- 2017年(平成29年) 10月 ● おしま学園(ゆうあいの郷)開設50周年(記念事業実施)
おしまコロニーから、ゆうあいへ呼び名変更
- 2025年(令和 7年) 4月 ● 祐川暢生 第3代理事長就任

法人概要

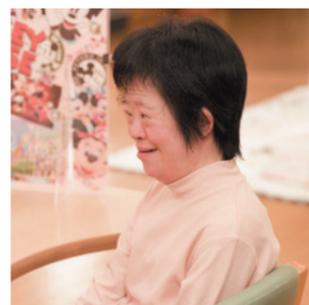
法人名称	社会福祉法人 侑愛会 学校法人 ゆうあい学園
設立	1963年6月(社会福祉法人)
理事長	祐川 暢生
法人本部	〒049-0101 北斗市追分7丁目8-9 TEL: 0138-49-2581 URL: https://www.yuai.jp E-mail: office@yuai.jp
事業概要	乳幼児、学童期の事業所(6か所)、成人期、高齢期の事業所(14か所) 地域生活支援の事業所(グループホーム44か所)、医療機関/相談機関(8か所)
職員	881名(2025年2月/男性339名・女性542名)
資本金	88億9,600万円(純資産)



私の好きなもの

函館青年寮通所部 にじ部門

加藤 綾子
Kato Ayako



正規の芸術教育を受けていない人の芸術は

アール・ブリュット

フランス語で「加工されていない芸術」とも呼ばれます。

自由な表現活動は新鮮で魅力的。

思い思いのスタイルで独創性あふれるアートが生み出されています。



悦子さんと愉快的仲間たち

新生園

竹田 悦子
Takeda Etsuko

